



PCで



タブレットで



スマホで



移動不要



安心安全



いつでも

テクノ経営オンデマンド
ネット配信 技術セミナーHPからも
お申込OK

インターネット環境があればOK (テキスト付)

～真因を追求し再発防止につなげる～

(約90分)

下記QRからも
お申込みできます

トラブル徹底攻略 原理原則からの なぜなぜ分析実践編

セミナー
番号
A-109

顧客要求がより一層厳しく、品質問題が一度起きると予期せぬ形で信用リスクが波及してしまう環境にあります。経験と勘で表面的に問題をただ処置するだけでは、同じ問題が繰り返されます。本セミナーでは、真因を追求し対策することで再発防止につなげる「なぜなぜ分析」の改善手法・実践の進め方を習得します。また、Mechanism logic Tree/QFDに基づく4軸表活用による根本対策の企業事例も紹介します。

第1部 なぜなぜ分析の概要 (40分)

なぜなぜ分析の必要性/構造/実践例
なぜなぜ分析実施の7ステップ/事前準備
現象・設備の絞り込み/事実の正確な把握
あるべき姿・原理原則からのアプローチ

第2部 現象分析の概要 (15分)

現象分析とは/現象分析の進め方
成立条件(良品条件)の検討/4Mとの関連性
Mechanism分析事例

第3部 企業事例(実践活用例) (35分)

Mechanism logic Tree/QFDに基づく
4軸表の活用例/設計段階での活用例
まとめ

担当講師 コンサルタント 竹中弘路

大手家電メーカーにて生産技術・生産管理、事業計画に従事し、新工場建設・海外EMS指導・原価低減・品質向上等を推進。その後コンサルタントとなり、国内・海外の様々な業種企業の生産革新・原価低減等経営革新支援では高い評価を得ている。



(各回先着50名限定公開) 受講料、日程、お申込みは別紙(申込用紙)をご参照ください

～品質保証レベルを向上させる～

不良低減 ポカヨケ改善の進め方

セミナー
番号
A-110

製品の多品種化や働き手の働き方の多様化などにより、生産現場ではうっかりミスが起きやすい環境にあります。ほとんどは適切な改善アイデア発想で根本から解決できます。本セミナーでは、「ヒューマンエラー」の発生要因を掘り下げて発生しない、発生してもすぐに発見できる仕組みづくりを習得します。また、Fool Proofの原理活用・設備改善による流出防止・発生防止の改善としてポカヨケ改善策、企業事例も紹介します。

第1部 ヒューマンエラーの原理

ヒューマンエラーの構造/ヒューマンエラーの種類と分類
ヒューマンエラーは何故起こるのか(SHELモデル) (10分)
真因追求のアプローチ/エラー撲滅対策事例

第2部 未然防止による不良低減

エラーは注意力で防げるか/Fool Proof化の
5原理/エラー防止の3段階アプローチ/人為ミスを防
止する実践ステップ(流出防止・発生防止) (30分)

第3部 ポカヨケ改善の進め方

ポカヨケ概要と実践方法/Fool Proofの
基本原理と対策例/QAネットによる品質
保証レベル向上策/企業CF活動事例) (60分)

担当講師 コンサルタント 竹中弘路

大手家電メーカーにて生産技術・生産管理、事業計画に従事し、新工場建設・海外EMS指導・原価低減・品質向上等を推進。その後コンサルタントとなり、国内・海外の様々な業種企業の生産革新・原価低減等経営革新支援では高い評価を得ている。



(各回先着50名限定公開) 受講料、日程、お申込みは別紙(申込用紙)をご参照ください